

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成26年4月17日(2014.4.17)

【公開番号】特開2014-42286(P2014-42286A)

【公開日】平成26年3月6日(2014.3.6)

【年通号数】公開・登録公報2014-012

【出願番号】特願2013-203772(P2013-203772)

【国際特許分類】

H 04 R 3/00 (2006.01)

G 10 K 15/04 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

H 04 Q 9/00 (2006.01)

【F I】

H 04 R 3/00 310

G 10 K 15/04 302F

G 11 B 20/10 D

H 04 Q 9/00 301E

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月7日(2014.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ハウジングと、

前記ハウジングに含まれるスピーカと、

オーディオコンテンツと制御情報とを無線で送信および受信するトランシーバであって、前記スピーカが前記トランシーバによって受信された前記オーディオコンテンツから可聴信号を生成可能である、前記トランシーバと、

前記スピーカと前記トランシーバとの処理を制御可能なリモートコントローラであって、前記リモートコントローラが前記ハウジングから離れた処理の対象となる1もしくは1より多くのリモートスピーカを選択するための信号を送信可能でもあり、前記リモートコントローラが前記1もしくは1より多くのリモートスピーカの操作を制御するために用いられ得るもので、前記操作が音量のコントロール、バランス、ミュート、及び、イコライゼーションのうちの1もしくは1より多くを含む、前記リモートコントローラと、

を具備するシステム。

【請求項2】

前記スピーカ、及び、符号化と暗号化パラメータを制御できるリモートコントローラを更に含む、請求項1のシステム。

【請求項3】

前記トランシーバが、2.4GHz搬送周波数上で無線信号を送信する送信機、及び、2.4GHz搬送周波数上の無線信号を受信する受信機のうちの少なくとも1つを含む、請求項1のシステム。

【請求項4】

前記トランシーバが、IEEE802.11規格の1もしくは1より多くに適合する、請求項1のシステム。

【請求項 5】

前記トランシーバが、1もしくは1より多くの位相変調とデジタル変調を用いた送信の前に信号の処理を行う、請求項1のシステム。

【請求項 6】

前記位相変調及び/あるいは前記デジタル変調が、1もしくは1より多くの周波数偏移変調及び位相偏移変調を含む、請求項5のシステム。

【請求項 7】

前記トランシーバが、マスター/スレーブ通信プロトコル、サーバ/クライアント通信プロトコル、及びピア/ピア通信プロトコルを含む1もしくは1より多くの通信プロトコルに従ってオーディオコンテンツの送信を行う、請求項1のシステム。

【請求項 8】

前記トランシーバ、リモートスピーカ、及び/または前記システムの他のデバイスがデータを送信もしくは受信できるよう、前記データが双方向方式で提供される、請求項1のシステム。

【請求項 9】

前記システムが、前記リモートスピーカを含む、請求項8のシステム。

【請求項 10】

前記トランシーバが、オーディオコンテンツの分離されたセットを搬送できるワイヤレス送信のための2つのチャネルを生成可能である、請求項1のシステム。

【請求項 11】

前記トランシーバが、取り外し可能に前記ハウジングに取り付けられた、請求項1のシステム。

【請求項 12】

リモートコントローラを具備するデバイスであって、前記リモートコントローラがハウジングに関連付けられたトランシーバとともにハウジングに含まれるスピーカの動作も制御も可能であり、前記トランシーバが無線でオーディオコンテンツを送信および受信可能であり、前記スピーカが前記トランシーバの受信した前記オーディオコンテンツから可聴信号を生成可能であり、

前記リモートコントローラが前記ハウジングから離れた処理の対象となる1もしくは1より多くのリモートスピーカを選択するための信号を送信可能でもあり、前記リモートコントローラが前記1もしくは1より多くのリモートスピーカの操作を制御するために用いられ得るもので、前記リモートコントローラによって制御される前記操作が再生パラメータを含み、前記再生パラメータが音量のコントロール、バランス、ミュート、及び、イコライゼーションのうちの1もしくは1より多くを含む、

前記デバイス。

【請求項 13】

前記リモートコントローラによって制御される前記動作が、1もしくは1より多くの再生パラメータ、スピーカの電源オンとオフ、及び、リモートスピーカに対する一意のスピーカ識別子の設定を含む、請求項12のデバイス。

【請求項 14】

前記リモートコントローラが、システム全体の動作をトリガする信号を提供し得る、請求項12のデバイス。

【請求項 15】

前記リモートコントローラが、前記リモートスピーカの少なくとも1つをミュートする前記トランシーバからの信号の送信をトリガする信号を送信可能である、請求項12のデバイス。

【請求項 16】

前記リモートコントローラが、前記リモートスピーカの少なくとも1つに可聴信号を生成させる前記トランシーバからの信号の送信をトリガする信号を送信可能である、請求項12のデバイス。

【請求項 17】

前記リモートコントローラが、リモートスピーカに割り当てられた一意識別番号を選択可能である、請求項 12 のデバイス。

【請求項 18】

前記リモートコントローラが、符号化と暗号化パラメータを制御できる、請求項 12 のデバイス。

【請求項 19】

可聴音信号の生成のためのオーディオコンテンツが提供される 1 もしくは 1 より多くのリモートスピーカを特定する信号が、前記リモートコントローラから前記トランシーバへ送信され得る、請求項 12 のデバイス。

【請求項 20】

いずれのリモートスピーカもしくはリモートスピーカのグループが前記トランシーバから信号を受信すべきであるかを特定するため、前記リモートコントローラが 1 もしくは 1 より多くの信号を前記リモートスピーカへ送信可能な、請求項 12 のデバイス。

【請求項 21】

前記リモートコントローラからのいくつかの命令が前記ハウジングの場所で実行され、1 もしくは 1 より多くのリモートスピーカによって実行されるために他の命令がトランシーバによって送信される、請求項 12 のデバイス。

【請求項 22】

前記リモートスピーカの 1 つがトランシーバを具備し、前記リモートコントローラからの命令のいくつかが前記リモートスピーカによって実行され、他の命令が、前記ハウジングの場所で実行されるために前記リモートスピーカの前記トランシーバによって送信される、請求項 12 のデバイス。

【請求項 23】

ハウジングと、

前記ハウジングに含まれるスピーカと、

オーディオコンテンツと制御情報とを無線で送信および受信するトランシーバであって、前記スピーカが前記トランシーバによって受信された前記オーディオコンテンツから可聴信号を生成可能であり、

前記ハウジングから離れた、選択スイッチを有するリモートスピーカであって、前記リモートスピーカが他のリモートスピーカとグループ化され得るような状態に前記選択スイッチが置かれ得るものであり、1 もしくは 1 より多くの前記リモートスピーカが前記トランシーバと無線で通信可能である、前記リモートスピーカと、を具備し、

前記スピーカと前記トランシーバとの処理を制御可能なりモートコントローラであって、前記リモートコントローラが処理の対象となる前記リモートスピーカを選択するための信号を送信可能でもあり、前記リモートコントローラが前記リモートスピーカの操作を制御するために用いられ得るもので、前記操作が音量のコントロール、バランス、ミュート、及び、イコライゼーションのうちの 1 もしくは 1 より多くを含む、

システム。

【請求項 24】

前記選択スイッチが 1 もしくは 1 より多くのハードウェアスイッチもしくはソフトウェアスイッチである、請求項 23 のシステム。

【請求項 25】

前記リモートスピーカが他のリモートスピーカとグループ化され得るもので、前記他のリモートスピーカの各々が前記リモートスピーカのスイッチの状態と同じ状態にあるスイッチを有する、請求項 23 のシステム。

【請求項 26】

前記選択スイッチの状態は、部屋の方針を考慮したものである、請求項 23 のシステム。

【請求項 27】

請求項 1 のシステムは、前記ハウジングに取り付けられるドッキングポートを更に具備する。